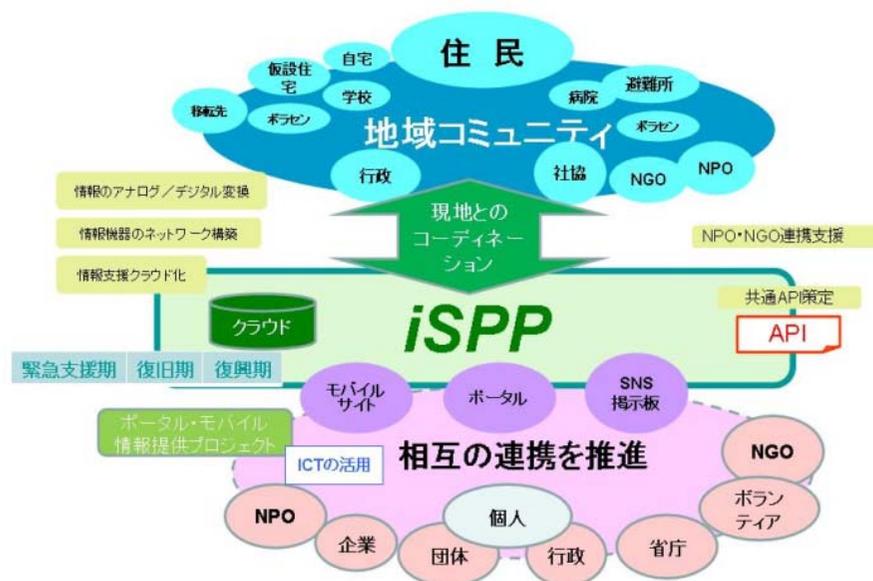


活動のイメージ



ご入会・ご支援について

iSPPの趣旨と活動にご賛同いただける皆さまには、会員になっていただくことと、ご寄附をお願いいたしく存じます。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

www.ispp.jp

情報支援プロボノ・プラットフォーム (iSPP) 事務局

〒150-0011 東京都渋谷区東 3-22-8 サワダビル 4F

(モバイル・コンテンツ・フォーラム内)

TEL: 03-5468-5091 FAX: 03-5468-1237

Mail: office@ispp.jp Web: <http://www.ispp.jp>

Facebook: <http://www.facebook.com/iSPPFB>

twitter: @ispp311



情報支援プロボノ・プラットフォーム (iSPP) 入会ご案内

「情報ギャップ」の解消を

東日本大震災直後、甚大な被害に驚きつつ、危機の渦中で情報の重要性を痛感し、情報通信技術 (ICT) がもっと役立つのではないかと思っただけの方は少なくないでしょう。事実、携帯電話、インターネット、twitter、ソーシャルネットと、様々なサービスが使われました。

被災地では、津波でインフラが流出し、携帯は発信規制でつながらず、ネットも停電で使えず、期待したほど使えなかったという声を聞きます。他方、携帯のメールや twitter で家族の無事が確認できた、パーソンファイnder経由で避難所にいた親と再会できた、という報告も多数あります。

今回の災害は被災地域が広大で、地震、津波、原発事故と、被害の実態もきわめて多様です。それだけに、被災者側のニーズと支援者側のリソースとの「情報ギャップ」が大きく、支援活動の妨げとなっています。

多様な情報プラットフォームの構築と運用

被災現場では、依然としてきわめて厳しい状況が続いています。被災者の苦痛の軽減、生活の再建、地域社会の復旧・復興のために、効果的な情報・システムの役割は、ますます重要になっています。まだまだ多数のプロジェクト、活動が必要とされています。

「情報支援プロボノ・プラットフォーム」は、ICTにかかわる個人が自分の持つ知識・経験・技能・資源を活かし、被災者の皆さんを支援するために貢献できないかと考えて集まった非営利組織です。すでに支援活動に取り組まれている多くの方々との連携を推進し、「情報ギャップ」の解消のための多様な情報プラットフォームの構築と運用に取り組んでまいります。

私たちの活動の趣旨にご賛同いただき、具体的な活動に参加されるとともに、物心両面におけるご支援、ご貢献を、切にお願いいたします。

*プロボノとは:「公共善のために」を意味するラテン語 *pro bono publico* に由来する言葉で、専門的な知識・経験・技能・資源を有する人々が、それらを活かして社会貢献するボランティア活動を指します。

iSPP のかわるプロジェクト

- ◆当面の活動(被災者の苦境を軽減することに資する活動)
 - ・避難所・被災者へのインターネット接続環境提供
 - ・避難所の個別ニーズ支援(例:アマゾン「ほしい物リスト」連携)
 - ・ボランティアの受付・登録運用システム(例:仙台の NPO 支援)
 - ・自治体への情報支援・連携(例:名取市など)
 - ・震災後の情報行動調査(準備中・6月実施予定)
 - ・イベントの開催協力
 - ・放射線被害への報道改善
 - ・情報システム間の連携を支援する共通 API の策定
- ◆中長期的活動:
 - ・被害の実態の記録・保存、災害時の情報行動の調査(例:Save MLAK との連携)
 - ・阪神・淡路大震災など、これまでの災害時の教訓との照合・継承
 - ・国際的な災害対応活動との連携・協力
 - ・日本の社会システムの改善につながる日本人としての考え方の検証
 - ・上記に基づく緊急時対応システムの構築・マネジメントの提案など

これまでの経緯

- 2011年3月14日 有志8名による電話会議
- 3月21日 全体会合①開催 21名参加(情報社会学会よびかけ)
- 3月23日 趣意書 V0.9 完成。関係省庁・自治体・民間各団体等へ配布
ネット内外での周知活動 賛同者・参加メンバー募集開始
- 3月29日 全体会合② 約80名参加 コンセプト、活動内容、組織形態などの明確化/合意 プロジェクト=WGの組成、方向の確認
- 4月1-5日 有志4名で東北(いわき、郡山、仙台、気仙沼、名取)訪問
- 4月14日 全体会合③ 東北訪問の報告、活動の方向性を検討
- 4月30日 「情報支援連会会合 in 仙台」開催 35名参加
- 5月連休 現地訪問② 3チームに分かれ、関係者との会合、状況調査、プロジェクト打合せ、まとめワークショップ
- 5月13日 全体会合④ 連休中現地訪問報告、団体設立の確認
- 5月24日 全体会合⑤=設立総会

iSPP の活動には、人的資源・資金が必要です

iSPP では、政府や自治体、民間の企業・団体・NPO などの組織、被災地の皆さまとの連携・協力を図り、復旧・復興活動の進展に情報面から支援／貢献します。

以下のいずれかの方法で、皆様のご参加、ご支援をお願い申し上げます。

●会員

趣旨に賛同いただける皆さまに、正会員として入会し、活動に参加されることを呼びかけます。周囲の方もぜひお誘いください。(6月末までにご入会いただければ、入会金免除となります)

正会員

一般	年会費 10,000 円	入会金 5,000 円
学生	年会費 5,000 円	入会金 2,500 円

賛助会員

企業の皆さまには、賛助会員としてご参加をお願いいたく存じます。

A	年会費 1,000,000 円	入会金 500,000 円
B	年会費 500,000 円	入会金 250,000 円
C	年会費 100,000 円	入会金 50,000 円

●ご寄附

直接活動に参加するお時間はないが、資金面でご支援頂けるという方には、個人としてのご寄附をいただければ幸いです。

●プロジェクト委託

プロジェクトの委託、協働などの可能性をお持ちの企業・団体の皆様、お声をかけていただければ幸いです。

●現物給付

PC、携帯、プリンタ、各種サービスの無償提供など現物給付も歓迎いたします。